

## ～ モーニング・ミーティングで話題に上がったこと(3月7日) ～

・ ご質問、ご意見 → 学校から

### ○ 「チャレンジ・デー」について

チャレンジ・デー…年間5回、長期休みのない月の第2水曜日を午前授業にする大崎市独自の取組

- ・ 来年度から開始の連絡があったが、具体的にどんな取組になるのか見えない。  
市の教育委員会から、もう少し詳しい説明があるとよい。  
→子供たちの主体性伸長、教員の働き方改革を進めるための取組。受け皿の確保、周知不足等の課題は否めないが、まず始めてみるということも大切。通達を受けてすぐに、子供たちが参加できる講座開設を計画して下さった地区もある。
- ・ 子供の教育について、何もかもを学校任せにするのは違うと思う。今回の市教委の提案に、「平日の子供たちの過ごし方について地域や家庭も考えるよう突き付けられている」と感じている。せっかくできた年間5回の平日の時間を、子供と一緒に、子供がやりたいことに取り組めるような家庭の体制も考えていきたい。そのためには、子供自身が夢を持って成長できるように家庭でも支援していきたい。

### ○ 「かたりば」について

応援団の会議の中で出た、「保護者同士が集まり、語り合える場がほしい」という要望に応え、運営を検討している取組

- ・ 「開催する際には、テーマを設けてやってほしい」と学校から言われていると聞いたが、どうなのか。  
→教師が入らない保護者だけの語らいの場を持つのは、意味のあることだと考える。せっかくの話合いの場を、学校対保護者の対立を生み出す場にはしてほしくないと考えている。学校に対する個別の事案は、直接学校にお話しただけると、よりよい解決につながる。
- 「テーマを設ける」というよりは、「集まる目的」を明確にして開催した方がよいという思いは、地域コーディネーターにお伝えしている。保護者同士の情報共有を通して、横のつながりが強まる「かたりば」にしてほしい。
- ・ 家庭の教育力を高めていく必要を感じる。以前は、PTA が担っていた「親が育つ場」をどこが担っているか。  
→「かたりば」も、そのような場になることを期待している。
- ・ 保護者としても、クレームがたくさん出るような「かたりば」にはならないようにしてほしいと願う。

### ○ 「特色ある学校づくり」について

- ・ 子供たちの作品等を、「志ちゃん」などで販売してもらう取組をしてはどうか。
  - ・ 西古川の朝市などで出店することもできるのでは。
  - ・ 様々なツールを使って学校の良さをどんどん発信し、学校の魅力をたくさんの方に知ってもらうことで、児童生徒数を増やせたらよいと思う。
- 来年度以降、学習活動を計画する際の参考にする。

### ○ 子供たちの様子について

- ・ 1～9年生の幅広い年齢の関わりがよい。縦割り清掃では、先輩との関わりに悩んだこともあったが、次第により関係が構築されてきた。よい経験ができている。
- ・ 行事を参観する度に、西小中の良さを実感している。先輩への憧れの目、後輩に対する優しい目。
- ・ 前期課程低学年の子供から、7～9年生のかっこよさをたくさん聞いている。9年生の卒業が寂しいと言っている。本当に優しい先輩がたくさんいる学校。

### ○ その他(感想含む)

- ・ 来年度以降、防災食についての講演会を開催してはどうか。費用もかかるので、検討は必要である。
- 来年度初めに、応援団で行いたい事業について希望を取り、年間の事業計画を立てる。
- ・ 金融機関の出前講座も、依頼があれば実施可能。必要なときには、連絡をしてほしい。
  - ・ 今後も様々な講座が開かれる際、ぜひ保護者も参加させてほしい。
  - ・ 「話し合い」ということの難しさを感じる人が多い。公の場ではなかなか

ご参加いただいた皆様、どうもありがとうございました。  
今年度、最終の回も大変有意義な時間となりました。  
来年度もどうぞよろしくお願いいたします。